

# 消防団 **な が お か**

平成 30 年 5 月  
編集発行  
長岡市消防団

## 平成 3 0 年度消防団幹部



山之島方面隊長 斐澤 雄児	三島方面隊長 帆苅 茂	和島方面隊長 本間 孝之	寺泊方面隊長 丸山 晃	与板方面隊長 波形 正広	栃尾方面隊長 笠井 正巳	川口方面隊長 山田 登喜夫	山古志方面隊長 星野 和弘
本部員長 小林 守	長岡中央方面隊長 金子 隆一	長岡南部方面隊長 小林 孝行	長岡北部方面隊長 吉野 博文	長岡川西方面隊長 重山 靖浩	長岡西部方面隊長 伊津 敏	越路方面隊長 大石 一栄	小国方面隊長 桑原 勝利
	副団長 倉内 哲司	副団長 鈴木 守	消防団長 五井 文雄	副団長 小林 一福	副団長 早川 吉久		

**新**年度の

消防団ながおかは

消防団幹部の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1  
 長岡市消防団人事異動、行事予定・・・・・・・・ P 2  
 長岡市消防団互助会事業等・・・・・・・・ P 3、4  
 消防団協力事業所表示制度について・・・・・・・・ P 5  
 フェニックスだより・・・・・・・・ P 6



## 長岡市消防団人事異動（方面隊長以上）



退職者（3月31日付け）	昇任・配置換者（4月1日付け[ ]内は旧任）
・長岡中央方面隊長 高野 三津夫	・長岡中央方面隊長 金子 隆一 [長岡中央方面副隊長]
・長岡北部方面隊長 反町 敏彦	・長岡北部方面隊長 吉野 博文 [長岡北部方面副隊長]
・長岡川西方面隊長 本田 数巳	・長岡川西方面隊長 重山 靖浩 [長岡川西方面副隊長]
・長岡西部方面隊長 石田 伸光	・長岡西部方面隊長 伊津 敏 [長岡西部方面副隊長]
・小国方面隊長 山我 晃	・小国方面隊長 桑原 勝利 [小国方面隊訓練部長]

退職された方のご功労に敬意を表し、感謝を申し上げます。  
新体制のもと、より良い消防団活動を行うため一丸となって取り組みます。



## 平成30年度長岡市消防団行事予定



月 日	時 間	行 事 内 容	場 所
5月20日(日)	10:00~12:00	大河津・長岡・越路地区合同水防訓練	長岡市 (信濃川右岸河川敷)
5月22日(火)	19:30~21:00	魚野川夜間水防訓練	南魚沼市
6月3日(日)	7:45~12:30	長岡市消防団ポンプ操法競技会 (兼新潟県消防協会长岡地区支会代表選考会)	長岡市消防本部 長岡市民防災公園
6月8日(金)	19:00~20:45	市長・消防団幹部懇談会	長岡グランドホテル
7月29日(日)	10:00~16:30	第69回新潟県消防大会	胎内市
10月14日(日)	午前	秋季消防演習(15方面隊合同)	未定
10月21日(日)	午前	長岡市総合防災訓練	希望が丘小学校等
1月6日(日)	午後	長岡市消防出初式	大手通り アオーレ長岡

# 長岡市消防団互助会事業について



消防団員の福利厚生及び相互扶助を図ることを目的として、全消防団員で組織し、運営しています。次表に該当する事案が発生しましたら、分団長等の所属長を通じて、事務を担当する消防署（出張所）又は川口支所地域振興課に報告し、請求手続きをしてください。

長岡市消防団互助会			年会費 500 円（9 月、3 月支給の年報酬から 250 円ずつを徴収）
弔慰金	本人死亡	公務、公務外を問わず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香典 100,000 円</li> <li>・ 御明し（料） 2,000 円</li> <li>・ 花輪（花料） 15,000 円</li> </ul>
	家族等死亡	同居の親族で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配偶者</li> <li>・ 子</li> <li>・ 実父母、養父母、義父母</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香典 10,000 円</li> <li>・ 御明し（料） 2,000 円</li> </ul>
災害見舞金		住居の全部を焼失、滅失	50,000 円
		住居の 5 分の 1 以上を焼失、滅失	30,000 円
		借家等の 5 分の 1 以上を焼失、滅失（会長が認めたとき）	20,000 円以内
療養見舞金		公務による疾病で入院 30 日以上	10,000 円
活動助成金 （請求手続き不要）		新潟県消防大会ポンプ操法競技会	出場分団への助成 100,000 円
		市ポンプ操法競技会助成金	出場分団への助成 30,000 円
		新潟県消防学校入校者	1 日につき 5,000 円
		その他	代議員の協議により決定

※ 弔慰金、災害見舞金及び療養見舞金に伴う請求期間は、給付理由が生じた日から1年以内です。

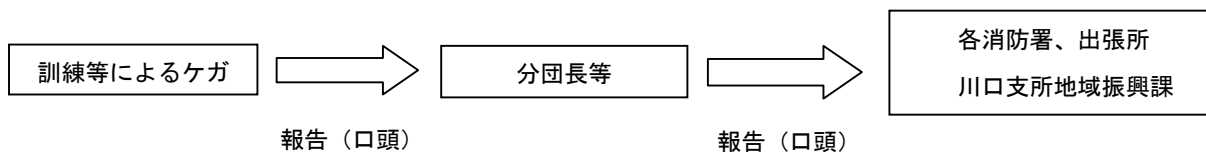


## 消防団員の公務災害について



消防団員の皆さんが、災害活動や訓練等によりけがをした場合は、公務災害として各種補償が適用されます。

万が一けがをした場合は、所属の分団長等を通じて、速やかに方面隊等の事務を担当する消防署（出張所）又は川口支所地域振興課に報告してください。（まず口頭で報告をお願いします。）



※ けがをした本人又は同行者は、医療機関での初診時に、「公務による負傷」であることを説明し、診察等にかかった費用（薬剤含む）は支払わないでください。後日、報告を受けた担当職員が医療機関等への支払い手続きを行います。



## 日本消防協会福祉共済制度等について



消防団員本人が、死亡若しくは障害を負った場合や病気・けが等で入院した場合は、次表の範囲内で弔慰金又は見舞金が支給されます。

	弔慰金・見舞金等	
	公務中	公務外
日本消防協会福祉共済制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡 2,300万円</li> <li>・重度障害 2,300万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡 100万円</li> <li>・重度障害 100万円</li> <li>・障害の等級により6万円～50万円</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気・けが等で入院（7日以上入院で120日以内） 1日につき1,500円</li> </ul>	
新潟県消防協会互助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡 10万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡 5万円</li> </ul>



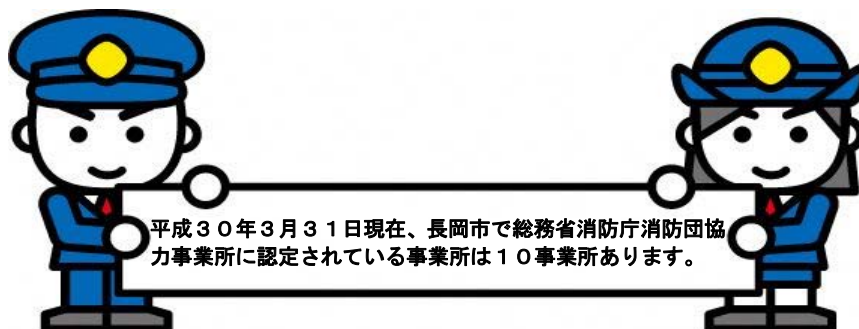
## 消防団協力事業所表示制度について



平成30年2月に、株式会社成田屋電設、有限会社稲建土木興業の2事業所が、消防団活動に積極的に協力し、特に顕著な功績が認められる事業所として、消防庁長官から『総務省消防庁消防団協力事業所』に認定されました。

また、同年3月、株式会社成田屋電設では多くの従業員が消防団に加入し、地域防災に大きな役割を果たしていることなどが評価されたため、消防庁長官から『消防団等地域活動表彰』を受けました。

『消防団協力事業所表示制度』とは・・・地域防災の中核的存在である消防団は、団員数が年々減少し、このままでは、地域の防災体制に支障をもたらすことになると憂慮されています。このような状況の中で、消防団員を雇用する事業所の消防団員活動への一層の理解と協力を得るために、消防団活動に協力している事業所に対し、その証として表示証を交付し、事業所の社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより充実することを目的として導入された制度です。



番号	事業所名	認定年月
1	越後ながおか農業協同組合（今朝白2）	平成22年2月
2	株式会社阿部製作所（与板町与板）	平成22年2月
3	朝日酒造株式会社（朝日）	平成22年2月
4	緑水工業株式会社（高見町）	平成23年2月
5	ユニオンツール株式会社長岡工場（撰田屋町）	平成24年2月
6	株式会社高橋土木（小島谷）	平成24年2月
7	株式会社青柳工務店（東川口）	平成26年2月
8	倉敷機械株式会社（城岡1）	平成28年2月
9	株式会社成田屋電設（北陽1）	平成30年2月
10	有限会社稲建土木興業（鳥越）	平成30年2月



# フェニックスだより

## 発足から 6 年……、私たちの使命とは

平成 24 年 4 月 1 日に長岡市消防団広報指導分団、愛称『長岡フェニックスレディーズ』発足。東日本大震災の半年後の平成 23 年 10 月 1 日、消防団の組織や任務など、何一つ分からないまま「何か役にたてるのならば……」との思いだけで集まった仲間たちでした。6 年の間、各地で幾度の災害がありました。

災害現場に出動しない私たちに与えられた「使命」、そして「今できること」を模索しながら、『備えることの大切さ』を市民の皆さまにお伝えしていくことこそ、広報指導分団の在り方かと考えるようになりました。

「古い歴史を新しく、灰の中から蘇る。不死鳥のまち長岡に……」と、ある小学校の校歌にもありますが、私たちのこの長岡は幾度の危機を乗り越え、フェニックスのごとく蘇ってきました。

新しい年度を迎え、私たち『長岡フェニックスレディーズ』は、これからも災害を防ぐ力を備え、災害に負けないまちを築き、長岡市民の皆さまの笑顔を守り続けるという使命を念頭に置き、活動して参ります。

これからも広報指導分団へのご指導、お力添えをよろしくお願いいたします。

広報指導分団 分団長 酒井敦子



## 平成 30 年度の主な活動予定



### ◎普通救命講習会（通年）

町内会の防災訓練や P T A の皆さんに向けて、普通救命講習会を実施しています。全分団員が応急手当普及員資格の取得を目指しています。



### ◎高齢者宅防火訪問（11 月）

高齢者のお宅を回り、住宅用火災警報器の設置状況調査や防火・防災についてお声がけをします。4 年前からスタートし、昨年は約 150 軒に訪問しました。



### ◎防火訓練・フェア（通年）

防火・防災の啓蒙活動、煙体験ハウス、お子さんへ防火衣の着装体験などのサポートを行います。



### ◎防災紙芝居（通年）

幼稚園や保育園、小学校の子どもたちに向けて、防火・防災についての紙芝居を披露しています。



### ◎春季消防演習（5-6 月）

各方面の春季消防演習へ伺い、会場アナウンスやプラカード持ち、表彰補助などを行っています。

※防災紙芝居や普通救命講習会の依頼は、消防本部総務課（☎ 35-2192）までお願いします。